

環境対応型 塗材剥離剤 アスベスト含有塗材対応

# リペアソルブ®

リペアソルブ

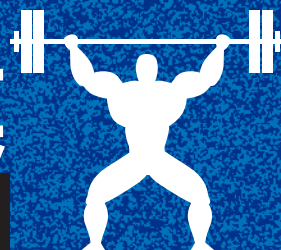
**A** 薄膜  
速浸透



リシン 向け

リペアソルブ

**N** 厚膜  
高浸透



タイル・スタッコ 向け

国土交通省  
新技術情報提供システム(NETIS)  
登録商品  
登録No.CB-180017-A



H.29年 環境省、厚生労働省の通達により

建築物の解体・塗り替え時における、アスベスト含有塗材の  
曝露防止および飛散防止措置の指導が強化されました!

リペアソルブだと飛散防止措置がレベル3相当で施工可能です!

レベル1 乾式剥離  
工法

- ブラストや電動工具などを使用する塗材除去工法。
- アスベストが飛散しやすい。
- 飛散防止措置として、隔離養生などが義務付けられています。



レベル3 湿式剥離  
工法

- リペアソルブを含む剥離剤などを使用する塗材除去工法。
- アスベストが飛散しません。
- 飛散防止措置がレベル3相当となり、隔離養生などの義務から解放されます。

※関係各所県市町村などの判断によりレベル1相当での施工となる場合があります。

## アスベスト含有塗材の現状

アスベストは**中皮腫**や**肺がん**等を引き起こします。

建築物の外壁や内壁の仕上げ塗材・下地調整材にアスベストが含まれる場合、改修・解体の際は塗膜が飛散しないよう除去することが**指導**されました。アスベストの使用が疑われる建築物の解体は今後増え続け**2030年～2040年頃がピーク**になります。



## 特長と主な用途



### リペアソルブシリーズは ジクロロメタン不使用

ジクロロメタンは有害性が高い上、土壤汚染防止法に抵触します。

### 便利な3つの特長



#### 飛散防止効果

塗材を湿潤させて剥離する為、アスベストが飛散しません。



#### 高粘度タイプ

エアレス・リシガンを使用可能でありながら、液だれし難く使い易いです。

### さらに塗材によって選べる2タイプ

#### リペアソルブA

##### ① 薄膜塗材に特に有効

リシンのような薄い塗材に効果的です。

##### ② 水系で毒性が少なく安全性が高い

水系で非危険物（消防法非該当）であるため、引火点が無く火災の心配が少なくなります。

#### リペアソルブN

##### ① 厚膜塗材に効果的

高粘度のため厚塗りができ、タイル、スタッコ改修塗材のような厚い塗材にも効果的です。

##### ② 溶剤系で優れた浸透力

浸透力が強く、塗り重ねられた塗材の奥まで強力に浸透します。

※リペアソルブNは、数タイプございます。

## 使用用途

仕上塗材の除去、Pタイル用接着剤の除去、外壁パネル・アルミパネル用の接着剤除去

# 適用塗材

※セメント系塗材(セメントリシン、セメントタイル、セメントスタッコ)と下地調整剤には適用できません。

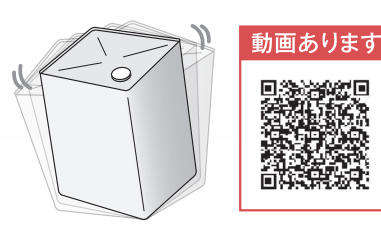
塗材名		リペアソルブ		目安時間 (20℃以上)	目安塗布量
		A	N		
リシン	薄塗材E(樹脂リシン)	◎	◎	A 15~24時間	0.5~1.0 kg/m <sup>2</sup>
	外装薄塗材S(溶剤リシン)	◎	◎		
	可とう形外装薄塗材E(弾性リシン)	◎	◎	N 8~24時間	
	防水形外装薄塗材E(単層弾性)	◎	◎		
タイル・スタッコ	複層塗材E(アクリル系吹付けタイル)	○	◎	A(養生有) 15~48時間	0.8~1.0 kg/m <sup>2</sup>
	複層塗材RE(水系エポキシタイル)	○	◎		
	複層塗材RS(溶剤系エポキシタイル)	○	◎	N 15~48時間	
	防水形複層塗材E(複層弾性)	○	◎		
	厚塗材E(樹脂スタッコ)	×	○		

◎容易に軟化湿潤 ○軟化湿潤可能 △わずかに軟化湿潤

※塗材の厚みにより、塗布量や時間は異なります。 ※塗布量が少ないと、剥離効果を充分発揮することができません。

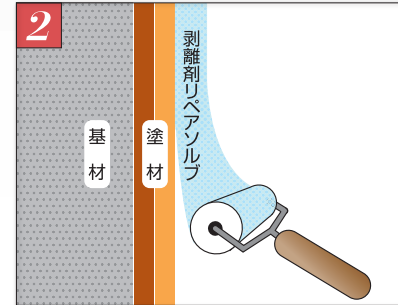
## 使用方法 (本施工の前に、必ず事前テストを行ってください。)

**1**



動画あります

**2**

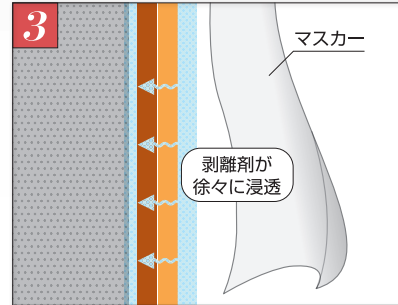


剥離剤リペアソルブ

基材

塗材

**3**



マスキング

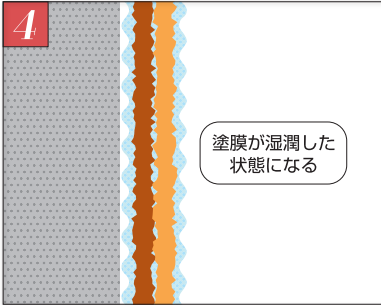
剥離剤が徐々に浸透

使用前に、一斗缶を振って、よく攪拌して下さい。

旧塗膜の上からスプレーガン、ローラー、刷毛等を使用し、剥離剤を塗布します。

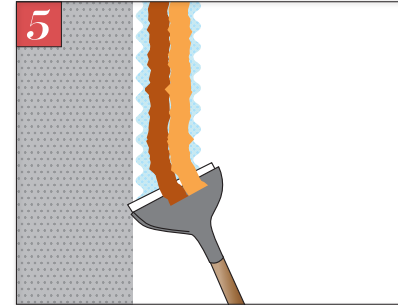
一定時間放置する。剥離剤が徐々に塗膜に浸透していきます。塗布部にマスキング等で養生するとより効果的です。

**4**



塗膜が湿潤した状態になる

**5**



化学反応により塗膜が軟化湿潤した状態になります。

スクレーパー等で剥ぎ取ると湿潤したシート状に回収できます。※刃先が交換可能な鋭利なスクレーパーを推奨します。

本製品は高粘度対応のエアレス、リシガン等で吹き付け塗布可能です。  
 ※1回の作業で除去できない場合、繰り返し作業を行ってください。  
 ※再塗装する場合は、剥離剤成分が残らないように高圧水洗を行ってください。  
 ※洗浄後は塗装面を十分に乾燥させてから、塗装行程を行ってください。

## 仕様・各種法令

仕様	品名	リペアソルブA	リペアソルブN
	荷姿	16kg	
	系統	水系	溶剤系
外觀	乳白色	薄茶色	
法令	消 防 法	非 該 当	指 定 可 燃 物
	有機溶剤中毒予防規則	非 該 当	
	特定化学物質障害予防規則	非 該 当	
	P R T R	非 該 当	

※本書に記載された内容は、製品の改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

## 注意事項

### (1) 取り扱い方法・注意点

1. 取扱い作業は火気のない所で行って下さい。
2. 液が体に付くと危険なため、作業時には保護手袋、保護眼鏡を着用して下さい。
3. 液が直接皮膚に触れないよう、十分注意しながら作業して下さい。
4. 使用中は風通しのよい場所か、十分な換気を行って下さい。
5. 取扱い後はよく手を洗って下さい。
6. 使用した器具は乾かないうちに水や溶剤で洗浄して下さい。

### (2) 救急処置

1. 蒸気を吸い込み気分が悪くなった時は、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受けて下さい。
2. 手や皮膚等に付着した場合、直ちに大量の水で十分に洗い流して下さい。痛みや外観の変化がある時は医師の診断を受けて下さい。
3. 目に入った時は、大量の水で数分間注意深く洗い、できるだけ早く、医師の診断を受けて下さい。
4. 飲み込んだ場合、無理して吐かせず、大量の水を飲んで下さい。できるだけ早く、医師の診断を受けて下さい。

### (3) 貯蔵・保管方法

1. 高温多湿および直射日光を避け、倉庫などの冷暗で風通しの良い場所で保管して下さい。
2. ふたをよく閉め、子供の手の届かない所に保管して下さい。
3. 0℃以下となる環境下での保管は避けて下さい。剥離剤が凍結し解凍後も性能が回復しない場合があります。

### (4) 廃液処理

1. 回収した剥離塗材・剥離剤・廃水等は、有資格処理業者に委託して処理して下さい。

### (5) 施工環境

1. 温度：10℃～35℃を推奨します。気温5℃以下で

も施工可能ですが、推奨範囲でのご使用がより効果的です。湿度：85%未満でご使用下さい。但し、塗布面が結露している場合は、湿度が85%未満であっても施工できません。

2. 0℃以下となる環境下でのご使用および保管は避けて下さい。剥離剤が凍結し解凍後も性能が回復しない場合があります。
3. 降雨、降雪、結露、霜の条件下またはその影響がある場所は施工は避けて下さい。特に、塗布後の降雨は、剥離剤が流出し軟化効果が得られなくなる場合があります。

### (6) 開封時

1. 剥離剤が高温となるような環境下に置かないで下さい。剥離剤が高温になると、容器内圧が高まりキャップが飛んだり開封時に中身が飛び出るおそれがあります。

### (7) 施工時

1. 剥離剤塗布、塗膜除去時は必ず防毒マスクを着用して下さい。
2. 剥離剤を吹付け施工する場合は、飛散防止のための養生を行なって下さい。
3. 剥離剤を塗布する際は塗布する箇所以外の周囲(壁、床、車、植物等)に付着しないようマスキング等で養生して下さい。

### (8) 施工後

1. 回収した塗膜は速やかに保管場所へ移動させて下さい。
2. 洗浄に使用した水は下水や河川に流さず回収し、塗膜片を除去後、有資格処理業者等に依頼し適切に処理して下さい。

※物性・関連法規・注意事項等の詳細に関してはSDS(製品安全データシート)の内容をご確認願います。

SDSは弊社HPの「お問い合わせ」欄からご請求願います。

※リペアソルブは、三協化学株式会社の登録商標です。

製造元



SANKYO CHEMICAL  
三協化学株式会社  
<http://www.sankyo-chem.com/>

販売代理店

本社	愛知県名古屋市中区白壁四丁目68番地	TEL:052-931-3111 FAX:052-931-0976
東京事業所	東京都千代田区鍛冶町1-10-1 丸石ビル別館5階	TEL:03-5289-4777 FAX:03-5289-9088
大阪事業所	大阪府大阪市中央区淡路町3丁目5-13 御堂筋創建ビル2階	TEL:06-6203-7277 FAX:06-6231-6166
九州事業所	福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル3階	TEL:092-686-8898 FAX:092-686-8761
北陸事業所	石川県金沢市彦三町1-2-1 アソルティ金沢彦三町3階	TEL:076-293-1854 FAX:076-293-1881